

2016年4－6月期四半期別GDP速報（1次QE）
公表に際しての石原経済財政政策担当大臣談話

2016年8月15日（月）

1. 本日公表した2016年4－6月期GDP速報では、実質成長率は前期比0.0%、年率に換算すると0.2%、前年同期比0.6%となった。

名目成長率は前期比0.2%、前年同期比1.3%となった。また、海外での稼ぎ等も含めた我が国全体の所得（国民総所得、GNI）は、実質ベースで見ると、前期比0.3%、前年同期比1.2%となった。

設備投資や外需がマイナスとなったものの、雇用・所得環境の改善等を背景に個人消費や住宅投資がプラスとなったことに加え、公共投資もプラスとなった。

我が国経済の現状については、このところ弱さもみられるが、雇用・所得環境の改善が続いており、緩やかな回復基調が続いていると認識している。

2. 政府は、デフレから完全に脱却するとともに、しっかりと成長していく道筋をつけるため、8月2日に「未来への投資を実現する経済対策」を閣議決定したところ。本対策の着実な実施により、当面の需要喚起だけでなく、民需主導の持続的な経済成長と、一億総活躍社会の着実な実現につなげてまいりたい。

3. 今後については、雇用・所得環境が引き続き改善し、経済の好循環が更に進展する中で、「未来への投資を実現する経済対策」の着実な実施等により、民需に支えられた景気回復が期待される。ただし、中国を始めとする新興国等の景気の下振れ、英国のEU離脱問題に伴う先行き不透明感、金融資本・商品市場の動向、地政学的な不確実性等に留意する必要がある。

（以上）